

## 特定非営利活動法人 木ようの家

特定非営利活動法人木ようの家は、平成21年度に、佐倉市の市民協働事業(市民提案型)に採択され、障害のある人の多様な暮らし方を考える事業として、シェアハウス、一人暮らしなど当事者に即した暮らしの選択肢を広げるということをテーマに、「障害のある人の多様な暮らし方を考える」フォーラムを、佐倉市立美術館で開催しました。

現在は、「障がいのある人もない人も共に豊かに生きあえるために、市民・行政・企業のパートナーシップによるユニバーサルデザインのまちづくりを進める事を目的」に、京成佐倉駅近くの事務所を拠点に活動しています。地域コミュニティの拠点を目指したリサイクルショップ、ボックスショップ、ギャラリー、ドリンクコーナーなどのショップ運営とともに、佐倉市地域活動支援センターとして、障がい者の日中活動支援、ジョブサポーターによる就労支援、学生スタッフとの余暇活動・社会参加活動等



お手持ちの名刺に点字を入れてみませんか!  
ご希望の方は、右記までお問い合わせください!

### 【お問合せ先】

住所: 佐倉市栄町7-15 TEL/FAX: 043-486-7686  
E-mail: mokuyou@mx35.tiki.ne.jp 代表者: 中郷淑子

2/9(土)  
10:00~15:00 第31回ボランティアのつどい  
「仲間づくりで新しい風をおこそうよ」

ボランティアグループ等の活動紹介 P R (ブースあり) やボランティア体験コーナー、スタンプラリー、抽選会など。



実施日時: 平成25年2月9日(土) 10:00~15:00  
場所: 佐倉市志津コミュニティセンター  
参加費: 無料  
主催: 佐倉市ボランティア連絡協議会  
共催: 佐倉市社会福祉協議会  
後援: 佐倉市、佐倉市教育委員会  
運営: 第31回ボランティアのつどい実行委員会  
問い合わせ: 佐倉市ボランティアセンター内  
TEL: 043-484-6198  
FAX: 043-486-2518

# まちづくりしょ!

市民協働情報紙

協働でどうでしょう?



## 平成24年度市民提案型事業採択団体

重症児者の「普通に生きる」を考えるプロジェクト実行委員会  
こどものあしたプロジェクト  
NPOいんば  
特定非営利活動法人まちづくり支援ネットワーク佐倉  
NPO法人「ワーカーズコレクティブ風車」  
任意団体「NPO佐倉ラボ」



# 6団体の事業を紹介

## 重症児者の「普通に生きる」を考えるプロジェクト実行委員会

所在地 佐倉市六崎1563-6グランコート401 連絡先 080-5423-2999(担当:矢部)

### 重症児者の「普通に生きる」を考えるプロジェクト

できるだけ多くの佐倉市民に重症児者の生活のあり方について理解していただくことを目的として、佐倉市民全員を対象として「普通に生きる」の上映を公共施設等で9回(7月24日、8月3日、9月28日、各日3回)実施しました。また今後の啓発活動の改善を探るため、アンケート調査を行いました。

上映会としては、広報活動の重要性を感じました。啓発活動としては他団体との連携もとれ、また多くの方に重心児者への理解、福祉への関心の深さを感じることが出来ました。今後は要望の多かった土日の開催に向けて検討していきたいと思います。



## 子どものあしたプロジェクト

所在地 佐倉市稻荷台1-10-9 NPO佐倉こどもステーション内 連絡先 043-487-1655(担当 山本) HP [http://blog.goo.ne.jp/kodomonoashita\\_2011](http://blog.goo.ne.jp/kodomonoashita_2011)

### 文化を通して子どもがいきいきと育つまちづくり事業

佐倉の子ども達が心豊かに育つよう、優れた舞台芸術に触れる機会を市民連携で継続的に作り出すことを目的とし活動。

本年度は、7/24臼井小にて想像力を培うワークショップを実施。30人の子どもが参加し、好評を得ました。8/28佐倉市民音楽ホールにて「自分らしく生きる」がテーマの「モ

モ」(劇団うりんこ)を上演(ひとり親家庭を41人招待し、多くの人の参加を得ました)。作品内容に関しては、世代で賛否両論がありました。

佐倉市内小中学校での鑑賞教室を応援するために、子どものための鑑賞情報を収集、整理し、全学校に届けます。



## NPOいんば

所在地 佐倉市王子台3-5-15(株)大和内 連絡先 090-3249-6002(担当:園原) HP <http://park19.wakwak.com/~npo-inba/index.html>

### 屋形船で印旛沼体験

子供達に、飲料水として、又、水辺の憩いの場としての印旛沼を知つてもらい佐倉市の恵まれた環境を保全する心を育むため、7月28日(土)に屋形船に乗り、沼上から生き物や水草について観察したり、千葉県内水面研究所では魚や水草との関係について学習しました。また屋形船の中で印旛沼に関する俳句を作つてもらい、その作品を審査。優秀賞3篇は10月20日開催の印旛沼流域環境体験フェアにて表彰。全作品を当日会場に展示しました。

夏休みに親子での参加は好評であり、その後は当会の広報誌を送付したところ、保護者からの手紙など印旛沼浄化推進に关心を持ってくれた手ごたえを感じています。小学3・4年生は印旛沼の学習をするので、今後も継続して子供達に生き物や水草に触れる機会を提供し、学校のカリキュラムに組んで貢えるよう目指していきます。



## 市民提案型事業って何?

地域の困った、なんとかしたい!こんなまちにならいいな…地域の課題やまちづくりのアイデアが市民の皆さんにはたくさんあるのでは?市民提案型事業は、地域課題の解決につながる取り組みについて、「こんな事業はどうですか?」と、市民公益活動団体の持つ知識技術を生かして市に事業提案していただく制度です。公募市民等で構成される市民協働推進委員会の審査を経て、採択された団体は自主的・主体的に提案事業を実施します。市助成金、職員等の技術的支援、広報などにより、市も協働で取り組みます。  
※事業申請を希望する団体は市民公益活動団体として市に登録が必要です。

## 特定非営利活動法人 まちづくり支援ネットワーク佐倉

所在地 佐倉市鎌木町2-2-20 連絡先 090-4740-0001(担当:福山) HP <http://net-sakura.jimdo.com>

### 本佐倉城跡 市民向け講座及び見学会

中世城郭跡として県内最初の国史跡になった本佐倉城跡。その価値や魅力を広く市民に紹介する事により、文化遺産の保存問題や活用等についての関心を高めてもらうため一般市民向けに行う現地見学会と城跡の案内ガイドを6月9日(土)及び、11月10日(土)開催。6月は小雨の中参加者26名。11月は好天に恵まれ参加者61名。全七回コ

スの本佐倉城を学ぶ講座を開講し、現在までに三回を終了しました。

計画的に行う見学会以外に希望団体に対し随時本佐倉城跡の案内・ガイドを行っているが、今後広報を充実して更に受諾数を増やしていきたいと思います。



## NPO法人「ワーカーズコレクティブ風車」

所在地 佐倉市稻荷台2-7-6 連絡先 043-461-5616(担当:下村) HP <http://homepage3.nifty.com/fuusha-sakura/>

### ひきこもりに関する居場所相談事業

ひきこもりに対する理解を広め、当事者を支援するため12月8日(土)に志津コミュニティセンターにて「精神科医療とひきこもり・発達障害に関する講演会」を精神神経科の高岡氏を招き開催。講演後、高岡氏を交えて懇談会を行いました。相談事業を適切に行うためのスタッフ向け研修を行うとともに、親の会(体験者の若者・親を講師にした相談会を含む)や、読書会、歌の会、卓球などを通して当事者や親などの情報交換や交流を深める場を設けました。また

ひきこもりに関する本などについて誰もが自由に閲覧できるよう図書室を開設、バザーなどを通して地域との交流を図りました。

親の会などの活動を今後も定期的に開催。また来年1月26日(土)、27日(日)に臼井レイクピアジャスコに開催予定の「消費生活展」において、当団体の目的・活動概要等について、より多くの人々に知ってもらえるよう積極的な広報に努めます。



## 任意団体NPO佐倉ラボ

所在地 佐倉市中志津1-16-12 連絡先 043-376-3762(担当:鳥海) HP <http://www.sakura-lab.net/>

### 親子が楽しめるイベント情報発信

夏休み期間中に佐倉市内の民間団体などが主催する親子で楽しめるイベント情報を市民に届けるために、広報誌2万部の発行と団体HP「さくらボWEB」において情報公開を行いました。自治会や商店会のお祭りをはじめ、夏休みの工作教室、自然体験教室など様々なイベント情報を発信しました。

夏休みだけではなく、1年間を通じた「親子で楽しめるイベント」情報が提供できる体制作りを考え、実現できるように努力したいと思います。

